



教育情報 **桂川っ子**

【問合せ先】桂川町教育委員会 ☎65・1149



題字：桂川中学校美術部 福田 七夏海さん

■夏休みこそ、

「早寝・早起き・朝ごはん」を

桂川小学校校長 大庭公正

夏休みに入り、10日が過ぎました。子どもたちが元気がいっぱい過ぎていて、姿が目には浮かびますが、一方ではクーラーの中でゲームに熱中する姿も心配されるようです。

人間は、食べて、寝て、そして活動できるものです。例えば、  
 ①遅くまで起きているとお腹が空く↓②夜食を食べる↓③朝早く起きられない↓④お腹が減らないので朝食は食べられない↓  
 ⑤お昼には空腹のためたくさん量を食べる↓⑥お腹が満腹なので遊ぶ気にならない↓⑦動かないから夕食に空腹感がない↓  
 ⑧寝る時間が遅くなる……といった悪循環につながれば、健康そのものが失われます。  
 この悪循環を断ち切るためには、①～⑧の行動のどこかから

改善させなければなりません。一つの行動を変えることにより、「生活リズムの風車」が回り始めます。

夏休みこそ、「早寝・早起き・朝ごはん」を定着させていくことが、心身ともに健康な子どもを育てることになり、二期期に向けてのパワーの源になっていきます。ご家族みんなで取り組んでいただければと思います。



■縦割りグループで体力向上  
桂川東小学校校長 西園浩一

本校では、子どもたちに「進んで協力できた」、「だれかの役に立つことができた」実感をもつことができるように、縦割り活動（六年生をリーダーとした異学年の取組）を行っています。

特に、本年度は、県が実施している「スポコン広場」の競技に取り組むことよって、連帯感を深めるとともに、体力向上

を図ることをねらっています。これまでの練習や話し合いを通して、子どもたちの次のような姿も見えてきました。

○下学年にも競技内容が分かるように、子どもたちが工夫してルールなどを説明している姿

○どうしたら、下学年や運動の苦手な子どもたちが楽しく競技に参加できるかを考え合っている姿

○失敗しそうになっても声を掛け合い、励まし合っている姿  
 ○上学年のお手本を見て、低学年の子どもがそのうまさにびっくりする姿

10月に行われる運動会で、練習の成果をお見せする予定です。



人権だより

【問合せ先】桂川町人権センター ☎65・1187

■街頭啓発活動を実施

7月の「桂川町人権・同和問題啓発強調月間」に合わせ、7月1日、街頭啓発活動（桂川町人権・同和問題協議会主催）が行われました。

桂川町役場付近をはじめ、町内5カ所で行われ、通行人に啓発用うちわや市民講座のチラシなどを配布しました。

■人権講演会を開催

7月5日(日)の10時から、住民センターで、市民講座「人権講演会」を開催しました。今年度は、猿回し師の村崎太郎(むらさき)さんを講師に迎え「橋はかかると差別のない世の中を目指して」と題して講演を行いました。

230人を超える参加者に向けて、村崎さんは、「一人の人間が一人の人間を救いましょう」「物事をきちんと理解しなければ、偏見や差別は無くなりません」と訴えました。

【参加者の声】

○自身の体験談を基に心に響く講演でした  
 ○差別のない社会でありたいと思います

